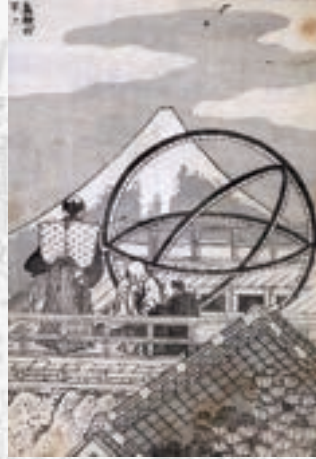


西の京都に対し、東に位置する江戸は「東都」とも称され、江戸時代には人口100万人を超える世界でも有数の巨大都市を形成していたことで知られています。およそ260年続いた江戸時代において、後期は特に町人文化が花開き栄えた時代でした。人々は変わりゆく四季を感じながら各地に点在する名所を巡り、また歌舞伎や相撲などの娯楽を楽しむ日々をおくりました。そしてそれらの様子は今日、浮世絵や書物などを通じて現代に伝わっています。



「富嶽百景」



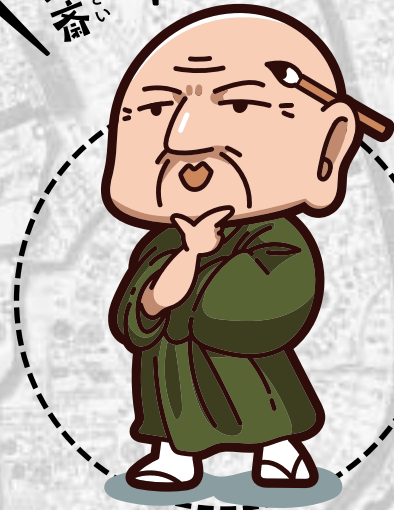
「富嶽三十六景 五百らかん寺さゝみどう」



「舟から降りる深川芸者」

ある日、そんな町の様子を実際に見たくなったあなたは仏様にお願いをしました。すると眩い光とともに妙見菩薩様が現れ1日だけあなたの望みを叶えてくれたうえ、案内人も用意してくれることになりました。どうやら信者の中にちよっと変わり者だが江戸の町をよく知る人物がいるそうです。その人物の名は葛飾北斎。江戸時代を代表する浮世絵師であり、現代でも名前が知られる有名人が案内してくれると聞いたあなたはビックリ。ドキドキとワクワクを胸に秘め、あなたは時代を越えて北斎の待つ江戸の町にタイムスリップしたのです。

案内人  
葛飾北斎



宝暦10年(1760)、江戸本所割下水(現在の東京都墨田区)生まれの生粋の浮世絵師。江戸界隈を何度も引越していたことから地理に詳しいと判断され、今回妙見菩薩様から案内人の依頼を受けることに。旅行経験も豊富で、最近は何州小布施にも出かけたとか。代表作に「富嶽三十六景」「北斎漫画」など

本展では「富嶽三十六景」などの版画に描かれる色鮮やかな風景や『画本東都遊』などの版本にみられる名所の数々、人々を魅了した歌舞伎役者の姿など、北斎の作品とともに江戸の街並みや人々の生活の様子をご覧いただけます。ツアーガイドを務める北斎と一緒に人々に賑わう江戸の町をどうぞゆっくりと見物ください。



「諸国瀧廻り 東都葵ヶ岡の滝」



「東都勝景一覽」



「画本東都遊」



### 北斎館ご案内

#### ■開館時間

午前9時～午後5時  
(ご入館は午後4時30分まで)

#### ■駐車場

北斎館駐車場(北斎館に隣接)  
大型車・中型車2,000円  
マイクロ1,500円、普通車400円  
(いずれも3時間まで)

#### ■アクセス

##### ●電車ご利用の場合

JR長野駅「善光寺口」を出て長野電鉄 特急約20分、普通約30分、小布施駅下車徒歩12分

##### ●車でお越しの場合

国道18号線「豊野」信号から約10分、上信越自動車道「小布施PAスマートインター」(ETC車専用)から約8分、「須坂長野エインター」から約20分、「信州中野インター」から約15分

